

議会の手帖 207

～ いつも市民の一番身近に ・ いぬやま市議会だより ～

2024.11.1



7月・9月の各議会で
犬山市のこんなことが決まりました。

7月臨時議会（1日間・7月26日）は
○市長提出議案 …………… 10件

9月定例議会

（24日間・9月2日～9月25日）は

○市長提出議案 …………… 32件
○委員会提出議案 …………… 1件
○委員会提出意見書案 …………… 1件
が提出されました。

すべての議案名と結果は、
犬山市議会ホームページを
ご覧ください。



議決結果一覧
はこちら

今号では
この中から
3つを選びました

Pick up 2

中本町まちづくり拠点施設の
改修等を行います。

【内容】
中本町まちづくり拠点施設（どんでん館）の改修等を行い、地域のまちづくり活動を支援します。

第76号議案

中本町まちづくり拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

こんな質問が出ました。

Q どのような改修を、いつ行うのか。

A 2階にある活動室と交流サロンを区切っている間仕切り壁を撤去し、机や椅子などを購入して、30人程度が利用できる会議室として整備します。11月に工事に入り、今年度中に完了します。

Q 新たな使用場所として広場が追加されたが、どのような要望があるのか。

A 犬山祭やワークショップの会場としての利用、車山の点検や解体作業など文化財保存伝承の取り組みとして



どんでん館

の利用の要望が多くあります。

Q 駐車場としての利用はあるか。

A 駐車場としての利用は、設備点検や身障者の方の乗り降り等、やむを得ない場合に例外的に認めているもので、一般の来館者の駐車はできません。

Pick up 1

市役所のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進します。

【内容】
市民サービス向上、業務改善のため、専門的な知識を持った外部人材を活用し、市役所のDXを推進します。

※DXとはデジタル技術を浸透させることで組織の仕組みを変えること。人々の生活をより良いものへと変革すること。

こんな質問が出ました。

Q 外部人材とはどのような方か。

A デジタルの専門的な立場から、多種多様なデータを活用分析でき、市の職員とともに市役所内外の調査を行うことができる人材です。

AQ 業務委託の範囲は、職員アンケートの結果や、多種多様なデータの活用分析をした上で、当市の課題の洗い出し、今後の市民



市役所本庁舎

AQ 個人情報取扱いは、特記仕様書を契約時に結びます。

や事業者へのサービス提案です。それらを踏まえて、今年度中に指針を策定し、来年度以降本格的な事業展開に繋がっていきます。

Pick up 3

五郎丸東一丁目地区の市街化区域編入を目指します。

【内容】
土地区画整理事業に向けた必要な調査を行い、地権者等のまちづくりに対する理解を高めます。

第84号議案

令和6年度犬山市一般会計補正予算（第4号）

こんな質問が出ました。

Q 地権者は何人いて、「まちづくり準備委員会」への参加者は何人か。

A 地権者は85人で、準備委員会への参加申し込みは12人です。

Q 組合設立はいつになるのか。

A 令和7年に発起人会を結成し、5年後の設立を目指しています。

Q 仮同意書の収集はどの程度必要か。

A 土地区画整理事業として進めることに對する仮同意書は、地権者の人数と土地の



五郎丸東一丁目地区

面積の合計、それぞれ総数の85%以上の収集が必要となっています。

Q 組合設立に向けての市の役割は。

A 組合は地権者が主体となりますが、事業が円滑に進むように、適切な助言、指導のほか、必要な助成を行います。

請願第1号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書
請願第2号	5月5日を「犬山・桃太郎の日」とする条例制定を求める請願
意見書案第2号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
総務委員会委員長報告	第84号議案 令和6年度犬山市一般会計補正予算（第4号）のうち、羽黒地区拠点施設改修事業については、仕様の変更等で予算の低減ができないかという問題提起があり、委員間討議を行いました。討議の結果、工事や備品の積算については妥当であり、了とするが、補正予算の決定から工事完了までの期間が短いため、本委員会としては、工事の進捗状況に注視するとともに、完成後の利活用についても注視していくことで、意見集約しました。

7月臨時議会、9月定例議会では、すべての提出議案を全員一致で可決（決算は認定）しました。また、左記の請願を採択、意見書を提出しました。総務委員会では補正予算について一部委員間討議を行い、委員長報告がありました。

議会の主な議案等にチェック 提出議案に賛成・反対しました



意見書はこちら



請願はこちら



すべての賛否一覧はこちら



UDトークアプリをインストール済みの方はこちら

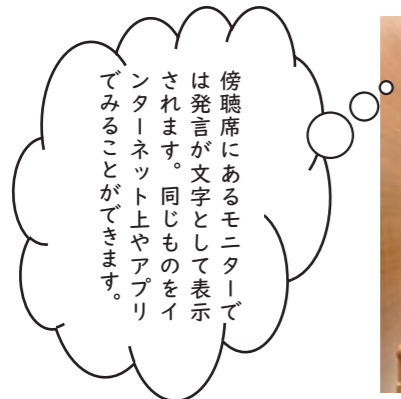


会議中に読み込んでください

令和6年9月定例議会より、「UDトーク」というアプリケーションを用いた本会議中継（ライブ中継）の字幕配信をしています。本会議開会中に左記QRコードを読み込むことで、字幕を閲覧することができます。

また、スマートフォン端末に「UDトーク」アプリをインストールし、QRコードを読み込むことも、字幕を閲覧することができます。

議会の字幕配信をしています



総務委員会

- DX推進を積極的に行う市役所として相応しい快適なインターネット環境の整備に努めること。
- 消耗品の購入については、全庁的に情報を共有し、安価な価格で購入できるように努めること。



令和5年度決算審査を踏まえた、各常任委員会からの令和7年度予算に向けた意見集約

決算審査の過程での指摘事項が今後の事業のさらなる改善や見直しにつながるよう、各常任委員会で討議を行い、意見を集約し、議長から市へ申し入れをしました。

建設経済委員会

- 駅東からくり広場の使用料（時間区分とその額）及び広場利用者への電源提供について検討すること。併せて、からくりモニュメントの今後の在り方や、広場の管理所管課の見直しについて、議論を深めること。
- 木曾川うかいにおける鵜匠雇用形態の在り方等について、検証及び議論を加速させること。
- 白山浄水場の維持管理については、引き続き注意深く取り組むとともに、併せて、突発的かつ多大な支出がないよう、アセットマネジメントを基に確実な修繕に努めること。



民生文教委員会

- 子育て支援策（特に虐待防止）について、国の補助政策等を参考にし、有効な施策を講ずること。
- 木曾川緑地のテニスコートについて、近年度重なる豪雨被害が繰り返されていることから、利用状況を確認した上で今後の在り方を検討すること。
- 訪問看護ステーションの建物について、地域医療の今後の在り方も考慮しながら有効活用を図ること。
- 中学校2年生と3年生について、30人程度学級の実現を図ること。



Q 当市で5月に発生した虐待事件で市は亡くなった児童とどの様に関わってきたか経緯を聞きたい。

A 令和4年11月15日に医療機関から保健センターに、虐待の疑いがある情報提供がありました。12月に未来園から保護者への聞き取り調査、子ども未来課職員による家庭訪問などを行い、虐待の可能性があるため児童相談所と情報共有を図りました。その後実務者会議の協議により支援対象児童として登録をし、未来園での見守りと支援を開始しました。再度、医療機関より身体に新たなけがを発生したと連絡があったことから、児童相談所に一時保護となりました。それ以降は関係機関が情報の共有を図り、未来園や



Q 学校で身体などの確認をしてみました。

A 市としても様々関わってきた中で、今後2度と同じ事件を発生させないため、虐待対策基本計画を作る必要があるのでは。今回の事案は内部検証会議において、問題点や課題を洗い出し、当市独自の虐待防止マニュアルを作成します。

Q 空き家の発生抑制の取り組みとして、どの様な事を行ってきたか。

A 無料住宅相談を随時受け付けているほか、空き家相談会も適宜実施し、空き家にならないための活用方法などの相談を受け付けています。

Q 高齢者の方へ、空き家の発生抑制の啓発の視点で、将来住まいを相続した家族の方が空き家の問題に困らないように、また住まいの将来を考える際や相続時に参考となる制度や手続、相談先を掲載している「住まいのエンディングノート」を活用してはどうか。

A 提案いただいた「住まいのエンディングノート」については、窓口や住宅相談などで紹介、啓発することは可能ですので、



虐待防止について



創犬会 玉置 幸哉

空き家の発生抑制について



公明クラブ 諏訪 毅

一般質問

(旧)星和橋について 景観上の配慮は？」



創犬会 小川 清美

Q 星和橋は、令和6年度に全ての工事が完了する予定とのことだったが、数年前から殆ど変わっていない。今後の工事予定を確認する。

A この事業は国の補助金を活用しており、令和5年度の補助金要望に対する内示率が73.9%と低かったため、スケジュールの見直しを行い、完了は令和7年度の予定です。

Q 工事は橋台及び橋脚を存置するもので、景観上は、いかがなものかと考える。当市には景観計画が定められ、類型別景観形成方針では散策路などの整備を行い、来訪者や市民にとって自然を身近に感じることのできる場を提供していくとなっている。景観上の見解と、ベンチでも置いて親水空間とし



Q 公共施設やインフラ等の同時多発的朽化、インフラは、特徴や事情が異なるため、個別施設計画を策定し、施設マネジメントに努めております。現在、計画期間は令和11年度までとなっておりますので、新たな計画は令和9年頃から着手します。

Q 将来、老朽化した施設・設備の維持更新が同時期に発生し、多額の費用がかかる可能性が高い。マンションのように長期修繕計画や修繕積立計画を個別に策定してはどうか。

A 多岐に渡る公共施設やインフラは、特徴や事情が異なるため、個別施設計画を策定し、施設マネジメントに努めております。現在、計画期間は令和11年度までとなっておりますので、新たな計画は令和9年頃から着手します。

Q 将来、老朽化した施設・設備の維持更新が同時期に発生し、多額の費用がかかる可能性が高い。マンションのように長期修繕計画や修繕積立計画を個別に策定してはどうか。

A 個別に修繕積立計画を行うことは理想ですが、現状の財政状況では困難であるため、朽化を見越した予防保全の観点をしつかりと取り入れ、計画的修繕に取り組めるよう、施設状況の把握に努めます。

Q 公共施設等の維持管理業務を包括的に民間委託する「包括的民間委託」を導入する自治体が増えてくる。検討してはどうか。

A 施設やインフラを適切に維持管理していく上で有効な手段の一つでありますので、今後先進事例を研究してまいります。



公共施設・設備の朽化について



創犬会 増田 修治

Q 工業団地内の落添から市道犬山公園小牧線に出るT字路が非常に危険だと相談を受けた。停止線で止まっても左右の植栽が車の窓の高さまであるため、停止線を越えて道路まで出なければ、車道沿いを走る自転車が見えない。警察に確認したところ、ここで過去に死亡事故があった。高齢者の方が自転車で公園線の車道沿いに走ってきてトラックが顔を出したところつぶつかったとのこと。ここは中学生が自転車で通る。このT字路は植栽帯により安全確認がしづらいので対策をしてもらえないか。また一時停止の標識をつけられないか。

A ご質問の市道犬山公園小牧線と一般市道の接続部は公園小牧線側に植栽帯



があり、一般市道側には一時停止の標識が無く、停止線のみがあるT字交差点です。幹線道路については令和7年度から三年計画で低木撤去と、防草対策を計画的に行う予定をしており、この交差点の安全対策についても、地元から要望書が提出されれば、要望内容も踏まえて計画に反映させていただきます。一時停止の交通規制については、公安委員会が設置するため、地域から要望が提出されれば、市から犬山警察署に要望していきます。

Q 昨年度から今までの中学校部活動地域移行への取組状況はどうか。

A 市内4中学校との協議を進め、合同部活動を経て地域移行を進めるという方向性と、大まかなスケジュールを本年3月に生徒と保護者に示しました。8月に開いた「第1回部活動地域移行検討会議」で協議し、後期から第2、第4土曜日、日曜日に合同運動部活動を進めていくことになりました。

Q 地域移行していくために、部活動指導員や外部指導員の存在は重要であるが、説明や意見交換などは行われているのか。

A 指導者の方々に向けて、現時点での進捗状況や今後についての説明会を9月中に実施します。指導者の方々からも説明会や



Q 今後、平日の学校での活動は継続していきますが、休日の活動は学校から切り分けられることになります。最終的に地域のクラブへ移行した場合、活動内容は地域のクラブが主体性を持って考えていただくことになります。

Q 羽黒地域の皆さんや、団体が意見を共有しながら、地域全体を創り上げていく未来を描いている。新たに羽黒地区に地域拠点施設ができることで、市長はどのように考えているか。

A 羽黒の拠点施設を作る目的は二つあります。羽黒地域の皆さんの交流の場を創出するためと、羽黒地区コミュニティ推進協議会の事務機能を併せ持つというものです。ワークショップでは、地域の皆さんが集って幅広くご意見をいただき、フリースペースやキッズコーナーを設けて地域の活性化や交流を広げる方向性が定まりました。羽黒には、羽黒中央公園、すすみふれあい広場、磨墨塚史跡公園、市民文化会



館、羽黒城址があります。そしてこれから新しい保育園の整備も進めていくことで、保育園に立ち寄る方が利用されるなど、様々な人に利用される「リビング」のような場所を作り上げていきたいと考えています。分野や年齢に関係なく、新しい羽黒づくりや犬山づくりにつながる交流センターとして、大きな潜在力と可能性があると思っています。いろんな人が交流を進めるきっかけとなって地域活動の活性化につながる役割を期待しています。

Q 子どもたちは虐待を受けていても、自分自身で気づくことが出来ない。虐待に対する子供たちへの啓発活動について、小中学校でどのように伝えているか。熊本の小学校では5、6年生がいじめ予防対策の委員会を立ち上げたり、アメリカの中学校でもいじめ予防の為にペイントやポスターを作り、学校中に貼るという啓発活動をしている。この例はいじめ予防だが、虐待に対しても当市で取り入れることができるか。受け身ではなく子供たち自ら考えることが重要。

A 学校ではまず自分自身を大切にすること、周囲の人たちを大切にすることを伝えていきます。道徳の授業の中でされたら嫌なこと、してはいけないこ



とを理解し、そうしたことを保護者や身近な大人などから受けていければ、虐待であることも伝えていくところだと思います。いかに学びを定着させていくかは、議員の例示も含めて研究し、虐待について啓発してまいります。

みんなで創る羽黒の未来！
新たな拠点と地域の輪



清風会 沼 靖子

虐待対応について



ピアンキ 恵子

一般質問

児童虐待事件、市としてすべきことは



清風会 久世 高裕

Q 5月に起きた児童虐待疑いによる死亡事件について、今回事件のあった家庭に対しては、民生児童委員や主任児童委員に情報提供をして協力を求めることもしておらず、国が虐待のおそれがある家庭に対して実施することを求めている「養育支援訪問」もその家庭に対しては行っていなかったことがわかった。市としてすべきことは、こうしたアウトリーチによる「情報収集と共有」だったと考えるが、市長はどう思うか。

A 学校で保護者会を開催した際、保護者の方々から「私たちにできることはなかったのか」という言葉をいただきました。民生児童委員の方々からも、地域で何かできることは

ないのかという本当にありがたい言葉をいただいています。市として何ができるかということに関しては、私も「訪問」が一つのキーワードになると思っております。養育支援訪問事業については、国が5歳まででは必要だよと言っているのに当市では1歳までしか規定しておらず、今回事件のあった家庭も対象になっていませんでした。「訪問」に関して市がどんなことができるのか、全て整理してそのあり方を再検証していきます。



(仮)新羽黒保育園整備についで



日本共産党 犬山市議会 岡村 千里

Q (仮)新羽黒保育園は、羽黒北及び羽黒子ども未来園を統合し、民設民営での整備が予定されている。整備の進捗状況はどうか。また、地域子育て支援拠点はどうのよう施設が計画されているか。

A 令和8年4月開園に向け、ライクキッズ株式会社による施工となり、令和7年5月に着手、令和8年1月末に竣工予定です。「地域子育て支援拠点」(子育て支援センター)は、安心して赤ちゃんを遊ばせる場の提供、お母さんや子どもとの仲間づくりの手伝いをする事業で、保育事業とは別に、同じ建物内の一部で事業を実施します。

Q 公立園から民営化へ移行する場合、保育の引き継ぎがとても重要になって



A 合同保育では現在まで行ってきた保育内容をしつかりと事業者に伝えていきます。園長、主任予定者は、令和7年4月から12月に園運営の状況や、1日の保育の流れを確認します。令和8年1月から3月には、4月からクラス担当する保育士が子ども未来園の各クラスに入り、子ども未来園の保育士と一緒に合同保育を行います。

犬山南小学校の施工不良から市発注の建設工事を考える



清風会 鈴木伸太郎

Q 公共施設は、建設したら50年以上使われる物件が多い。犬山南小学校で発生した事例から、原因・対応・今後の対策などを考える。犬山南小学校改築工事の不具合とは。

A 施工不良箇所は、北館の2カ所の階段でボルトの位置が違っていたこと、モルタルの充填不足です。原因は施工業者の担当者間で工程の進捗が共有されず、確認しないうまま次の工程に進んでいたことです。どちらも修復工事を実施し、9月から北館での授業を再開しました。対策として①工事の進捗状況管理強化②現場に対するチェック、バックアップ体制の強化③報告の詳細化を実施します。施工不良箇所以外に、床のへこみ、給食室調理機器の

Q 配置、食器等洗浄後の排水の問題などがありましたが、改善済みです。
A 橋爪五郎丸の子ども未来園は大丈夫か。
Q 現在のところ、不具合は見受けられませんが、工事完了まで緊張感を持って臨んでいきます。
Q 監視機能を外部に委託するなど、強化すべきでは。
A 外部に託すと多額の費用が発生するなど、負担が増えます。適切に工事が行われているかの確認の頻度を増やすことで、まずは現行制度での対応をしていきます。



道路公園等の市有物件の不具合の報告方法について



清風会 柴山 一生

Q 市有物件の不具合を市に通報する方法として、現在は土木常設員経由での依頼や、電話、メールなどがある。この方法だと不具合状況の写真正送りづらく、位置の連絡も難しい。他の自治体を見るといろいろな方法を活用している。神奈川県厚木市は「スマ報」というシステムを市独自で作成している。東浦町はFixMyStreetと言うアプリで市民は市へ通報することができる。当市では写真や位置情報を送れる通報システムを提供しているか。

9910)が、令和6年3月末から、全国の道路を対象に運用が開始されました。当市もこのアプリからの通報を3件受け付けています。

A 道路利用者が道路の異状等を発見した場合に、直接道路管理者に通報することができれば、国土交通省LINEアプリによる道路緊急ダイヤル(＃



「最初の一步」を!



日本共産党
犬山市議員
岡 寛

武蔵野大学教授の三坂育正氏「涼しいまちをデザインする」の中で示された「最初の一步」として「まちなかに日射受熱を低減できる連続的な日陰空間を設けることが重要」であると記載されている。

「最初の一步」としての日陰空間は、様々な形で、すでに存在していると認識していますので、新たな「暑熱適応を目的とした連続的な日陰空間」を整備する方針はありません。

当市においても、犬山駅の西側は連絡通路から市役所まで、東側はバス乗り場とロータリーを回ったところのタクシー乗り場まで、連絡通路から屋根をつなげる形で歩道に広げて、雨も防げる、直射日光も防げるという歩道にして、「最初の一步」を始めるべきではないか。暑い夏を迎えている市民に少しでも涼しくなってもらうために、行政が何らかの対策を打つことが「最初の一步」ではないか。

今時点の当局の方針として理解した。しかし今回初めての提案だが、市民の意向として、この暑い夏を乗り切る工夫を行政側も考えてほしい。議会側も議員一人の提案を意見交換しながら議会の意思に練り上げていくことが大事であり、私も引き続き探求していく。

一般質問

9月25日に「市議会の本会議中に震度6の大地震が発生、市役所本庁舎1階で火災が発生した」という想定のもと、防災訓練を実施しました。



大地震発生を想定した訓練では、本会議に出席している議員、職員と傍聴者が、落下物から身を守るシェイクアウト訓練と、揺れが収まった後に本会議を休止する手順を確認しました。



火災発生を想定した訓練では、傍聴者の避難を優先し、エレベーターを使用せずに、階段で避難する経路を確認しました。また、はしご車で本庁舎6階から議員2名が、救助袋で本庁舎4階から市職員が避難する訓練も行い、その後議員のみ議場へ戻り、職員不在で本会議を進行する手順についても確認しました。

表紙写真を募集します!!

犬山市議会では、より市民に親しみを持ってもらい読んでいただくための取り組みとして、次号の表紙写真の募集をします。

●募集要件

・縦撮りを原則とし、圧縮等をしていない高画質画像データでの提供が可能。
・犬山市に関する写真（風景・人物・絵など）かつ、著作権の侵害に該当していないもので未発表のもの（人物を含む場合には本人の承諾を必ず得ること。）

●応募方法

・期限 令和6年11月20日（水）まで
・提出先 犬山市議会事務局
・方法 住所・氏名・連絡先・写真テーマ名を記入して、写真データを添付し、メールで応募

・表紙に合わせるための画像の微調整に同意できる。

・写真使用料は無償とすることに同意できる。

・結果 採用された方には犬山市議会事務局より事前に確認の連絡をさせていただきます。



次回 11 月定例議会 日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
					再開日	
12/1	2	3	4	5	6	7
				一般質問		
8	9	10	11	12	13	14
	一般質問		議案質疑	全員協議会		
15	16	17	18	19	20	21
		委員会		最終日		
22	23	24	25	26	27	28

11月定例議会では審議・審査する請願・陳情の受理は11月21日(木)正午までです。

編集後記

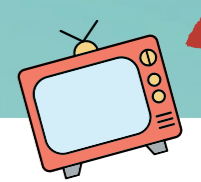
広報委員会
光 清 毅

9月議会では、決算審査が行われました。市の会計では、前年度の歳入・歳出について、監査委員により決算監査があり、毎年9月議会へ決算認定の議案が提出されます。お金の使われ方をチェックするとともに、次の予算につなげてもらえるように、各議員が質疑をしました。多くの市民の皆さんに、そうしたやりとりを本誌や中継によって知っていただきたいと思ひます。

- 委員長 畑 竜介 ■副委員長 小川隆広
- 委員 増田修治・光清 毅
島田亜紀・沼 靖子

今号の表紙 吉野正伸様の撮影された「古城の夕暮れ」を使用させていただきました。ありがとうございました。

防災訓練をしました



第一部 13:00～14:30 (開場12:30)

東海テレビアナウンサー

庄野俊哉氏 特別講演

*第一部講演には手話通訳、要約筆記者も同席しております。



地域を繋ぐ コミュニケーションカ



庄野俊哉氏 プロフィール

1965年12月11日 兵庫県西宮市生まれ O型

1988年 東海テレビ放送(株)入社

2011年4月 FNN東海テレビ
スーパーニュースキャスターを担当

2012年 編成局アナウンス部長

2015年 中日新聞「くらしの作文」
新聞音読スタート

2024年4月 作文音読3000回達成

※この講座は東海テレビ放送株式会社のCRS活動の事業の一環です。

11.23^土

市民交流センター フロイデ

第二部 14:45～15:45

議員とトークセッション

～市議会常任委員会ごとにテーマセッション～

総務委員会
犬山暮らしを
自慢しよう!

犬山で暮らすメリットって何?まちの魅力と課題を語り合います。

民生文教委員会
犬山市のスポーツに
ついて語ろう

部活動の地域移行や健康作りの為のスポーツなど、市に求めるスポーツについてお聞かせ下さい。

建設経済委員会
木曾川へ
GO!

来る人にも住む人にも魅力的な新しい観光とその戦略について、一緒に考えよう!

議会から

入場
無料

2024.11.1 No.207

いぬやま市議会だより
編集発行:犬山市議会広報委員会

〒484-8501 愛知県犬山市大字犬山字東畑36
TEL 0568-44-0307 FAX 0568-44-0368
Eメール 300100@city.inuyama.lg.jp

主催 犬山市議会
お問合せ 犬山市 議会事務局(犬山市役所6階)
☎ 0568-44-0307
✉ 300100@city.inuyama.lg.jp
🌐 www.city.inuyama.aichi.jp

